

廃食油の 回収倍増

昨年度の札幌市



08年度から消防署で回収するようになった廃食油

拠点増え認知度もアップ

札幌市内の家庭から回収された使用済み食用油(廃食油)が2008年度は4万リットルを突破し、前年度から倍増した。回収拠点が広がったことや廃食油回収の認知度が高まったことが増加につながったようだ。

(川村史子)

札幌市内では06年10月(ＢＤＦ)を製造、市から廃食油の拠点回収が始まった。民間事業者がベクトルに合わせた廃食油を集めてバイオディーゼル燃料に回収拠点は、初年度は42カ所だったが、07年度は71カ所に。さら

に08年度は消防署や消防出張所でも回収を始めて、192カ所に増えた。これに伴って回収量も、07年度の2万1395リットルから08年度は4万1311リットルと1.9倍になった。市は本年度、まちづくりセンターなど市の施設約100カ所を拠点に加え、さらに回収しやすくする。

回収量の増加について札幌市ごみ減量推進課は「家庭ごみの有料化の説明会で廃食油の回収をPRした効果もある」とみている。

一方、市内のＢＤＦ製造業者によると、不況で飲食店から出る廃食油は減少傾向になっているといい、「子どもがいる家庭は廃食油の量も多い」として学校ぐるみの回収の推進を期待している。